

令和元年10月 7日(月)  
国土交通省関東地方整備局  
総務部

## 記者発表資料

### 関東地方整備局入札監視委員会 審議概要 (第二部会 第2回定例会議)

関東地方整備局入札監視委員会第二部会の第2回定例会議が、令和元年9月20日、横浜市内で開催され、工事2件、建設コンサルタント業務等2件、物品・役務の提供等2件の入札結果が審議されました。  
審議内容は別紙のとおり。

#### 発表記者クラブ

|           |           |
|-----------|-----------|
| 埼玉県政記者クラブ | 横浜海事記者クラブ |
| 竹芝記者クラブ   | 神奈川建設記者会  |

#### 問い合わせ先

〈第二部会〉

国土交通省関東地方整備局  
神奈川県横浜市中区北仲通5丁目57番地  
横浜第2合同庁舎  
電話 045-211-7413(代)

|        |       |          |
|--------|-------|----------|
| 総括調整官  | 荻原 正成 | (内線5704) |
| 契約管理官  | 内竹 敏秋 | (内線5880) |
| 経理調達課長 | 小野 晃  | (内線5870) |
| 品質確保室長 | 高橋 三吉 | (内線5797) |

## 令和元年度

### 関東地方整備局 入札監視委員会 第二部会 第2回定例会議 審議概要

|                             |  |        |
|-----------------------------|--|--------|
| 開催日及び開催場所                   | 令和元年9月20日(金) 関東地方整備局 141・142会議室                              |        |
| 委員                          | 長 井 宏 平 (東京大学 准教授)<br>長 友 昭 (拓殖大学 准教授)<br>手塚 広 一 郎 (日本大学 教授) |        |
| 審議対象期間                      | 平成31年4月1日～令和元年6月30日  |        |
| 審議案件                        | 総件数  | 6件     |
| 工 事                         |  |        |
| 一般競争入札方式                    |  | 2件     |
|                             | 政府調達   | 1件     |
|                             | 政府調達以外   | 1件     |
| 建設コンサルタント業務等                |  | 2件     |
| 物品・役務等                      |  | 2件     |
| 委員からの意見・質問、<br>それに対する説明・回答等 | 意見・質問  | 説明・回答  |
|                             | 別紙のとおり   | 別紙のとおり |
| 委員会による意見の具申<br>又は勧告の内容      | 特になし   |        |

○ 問い合わせ先

横浜市中区北仲通5丁目57番地 横浜第二合同庁舎

電話 045-211-7413 (経理調達課)

国土交通省関東地方整備局 入札監視委員会第二部会事務局

総括調整官 荻原正成

契約管理官 内竹敏秋

経理調達課長 小野 晃

品質確保室長 高橋三吉

| 意見・質問  | 説明・回答  |
|--|--|
| <p>【報告事項】</p> <p>(1) 入札・契約手続の運用状況について</p> <p>(2) 指名停止等の運用状況について</p> <p>(3) 再苦情処理状況について</p> <p>(4) 談合情報等の対応状況について</p> <p>(5) 一者応札発生状況について</p> <p>(6) 事務所の平均落札率の推移状況について</p>   |  |
| <p>【事案1】</p> <p>一般競争入札方式（政府調達・空港等土木工事）<br/>「横浜港南本牧地区コンテナヤード整備工事」</p> <p>○本件施工範囲の隣に一括審査方式で別発注の（その2）工事があるが、それぞれの工事規模の決め方や全体で1件の工事としての発注としなかったのか、理由を教えてください。</p> <p>○入札参加者が8者と多く、入札金額も僅差となっている状況において受注者が落札できた理由としては、技術評価の差によって選定されたという理解でよろしいか。</p> | <p>○現在施工中のエリアである南本牧MC4ターミナルにつきましては、今年度の完成を目指しており、その施工スケジュールにおいて、効率的な工区割を検討した結果、2件の工事で発注することが合理的であると判断いたしました。</p> <p>○僅差の入札金額となっているのは、見積参考資料等により調査基準価格も類推し易いことが理由ではないかと考えます。結果としましては、ご推察のとおり技術評価において優れた提案をした者が落札しております。</p> |
| <p>【事案2】</p> <p>一般競争入札方式（政府調達以外・港湾土木工事）<br/>「茨城港灯浮標他維持管理工事」</p> <p>○評価項目の地域貢献度とはどのようなものか。</p> <p>○維持管理のような継続的内容の場合は複数年契約とした方が効率が良いのではないか。</p>  | <p>○東京湾内であれば東京湾内の環境改善の取り組み、全体でいえば、地元企業や地元資材を活用する場合に評価点を与えるなどいくつかの項目があります。</p> <p>○ご指摘を踏まえ、複数年契約を導入できる案件から導入をしているところです。引き続き複数年契約の導入につきまして検討を進めて参ります。</p>  |

| 意見・質問  | 説明・回答   |
|--|---|
| <p>【事案3】<br/>一般競争入札方式（建設コンサルタント等）<br/>「港湾・空港整備に係る沿岸気象海象情報の予測情報等提供業務」</p> <p>○この業務は特殊性が高いが故に1者応札となったものか。</p> <p>○1者応札且つ、落札率が高すぎる場所があると思うが、問題はないか。</p>                     | <p>○業務対応可能な者は事前の調べでは9者程度存在することは確認していたのですが、結果として、1者の応札となっております。</p> <p>○入札制度としては予定価格の範囲に納まっていれば問題があるものではありませんが、ご指摘のとおり近年1者応札が続いております。以前より委員会の場において1者応札が続いている案件へのご助言も頂いておりますので、引き続き、発注手法の検討をして参ります。</p> |
| <p>【事案4】<br/>簡易公募型競争入札方式（測量・調査）<br/>「東京国際空港周辺海域現況調査」</p> <p>○入札参加者が多い理由は何か推察できるか。</p> <p>○業務内容については、調査だけでなく過去からの経緯を踏まえた分析などがあるのか。</p> <p>○中間報告の回数を4回としている理由を教えてください。</p> | <p>○環境調査として一般的な調査であり、多くの者が実績を持っており参加がしやすかったためと考えられます。</p> <p>○データ整理が基本内容で、過去の調査資料は当局から提供しますので、誰でも分析可能です。</p> <p>○季節毎に実施する調査の報告を行うことを想定して、4回と致しました。</p>  |

| 意見・質問  | 説明・回答   |
|--|---|
| <p>【事案5】<br/>一般競争入札方式（役務の提供等）<br/>「首都圏臨海防災センター警備等業務（その2）」</p> <p>○落札金額が低いと思うが、労働者の最低賃金の観点からみて問題はないか。</p> | <p>○今回は調査基準価格の設定の必要のない案件となっておりますが、仮に設定した場合でも今回の落札率の約7割は特別低い落札金額ではありません。<br/>また、正社員の配置を業務の履行条件としており、本件の為に低い賃金により労働力を集めたものではなく、会社としての実績作り等、企業努力であると推察しています。</p> |
| <p>【事案6】<br/>随意契約方式（役務の提供等）<br/>「土地使用料（富津市新富）」</p> <p>○この土地の価格について、何か他と比較して適正と判断しているのか。</p>              | <p>○用地の使用条件に合致しているという上で、価格の面においては県の施設の使用料と比較し適正であると判断しています。</p>   |
| <p>【まとめ】</p> <p style="text-align: center;">本日の審議に関して、特に意見の具申及び勧告等はなし</p>                                |   |

## 【工事】

| 入札方式     | 工事名                 | 工事種別    | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日    | 契約の相手方          | 契約金額<br>(単位：千円) | 落札率<br>(単位：%) | 備考 |
|----------|---------------------|---------|----------------|--------|----------|-----------------|-----------------|---------------|----|
| 一般競争入札方式 | 横浜港南本牧地区コンテナヤード整備工事 | 空港等土木工事 | 8              | 6      | H31.4.18 | 若築・りんかい日産特定建設JV | 3,239,500       | 90.1          |    |
| 一般競争入札方式 | 茨城港灯浮標他維持管理工事       | 港湾土木工事  | 1              | 1      | H31.4.1  | 三国屋建設株式会社       | 15,400          | 97.8          |    |

## 【建設コンサルタント等】

| 入札方式     | 業務名                          | 業種区分       | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日   | 契約の相手方           | 契約金額<br>(単位：千円) | 落札率<br>(単位：%) | 備考 |
|----------|------------------------------|------------|----------------|--------|---------|------------------|-----------------|---------------|----|
| 一般競争入札方式 | 港湾・空港整備に係る沿岸気象海象情報の予測情報等提供業務 | 建設コンサルタント等 | 1              | 1      | H31.4.1 | 一般財団法人沿岸技術研究センター | 50,930          | 99.1          |    |

## 【建設コンサルタント等】

| 入札方式        | 業務名            | 業種区分  | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日   | 契約の相手方       | 契約金額<br>(単位：千円) | 落札率<br>(単位：%) | 備考 |
|-------------|----------------|-------|----------------|--------|---------|--------------|-----------------|---------------|----|
| 簡易公募型競争入札方式 | 東京国際空港周辺海域現況調査 | 測量・調査 | 5              | 5      | H31.4.9 | 三洋テクノマリン株式会社 | 28,600          | 81.4          |    |

## 【物品・役務の提供等】

| 入札方式     | 業務名                   | 業種区分   | 競争参加資格を確認した者の数 | 入札参加者数 | 契約締結日   | 契約の相手方  | 契約金額<br>(単位：千円) | 落札率<br>(単位：%) | 備考 |
|----------|-----------------------|--------|----------------|--------|---------|---------|-----------------|---------------|----|
| 一般競争入札方式 | 首都圏臨海防災センター警備等業務（その2） | 役務の提供等 | 6              | 6      | R1.6.10 | 株式会社MSK | 6,025           | 70.9          |    |

## 【物品・役務の提供等】

| 入札方式   | 業務名          | 業種区分   |  |  | 契約締結日   | 契約の相手方   | 契約金額<br>(単位：千円) | 落札率<br>(単位：%) | 備考 |
|--------|--------------|--------|--|--|---------|----------|-----------------|---------------|----|
| 随意契約方式 | 土地使用料（富津市新富） | 役務の提供等 |  |  | H31.4.1 | 日本製鉄株式会社 | 65,105          | 100.0         |    |